

白ねぎ管理情報 No. 3

令和6年4月19日
アルプス農業協同組合
富山県富山農林振興センター

気温は3月6半旬から平年より高く推移しており、北陸地方の1か月予報では、温かい空気に覆われやすく向こう1か月の気温は高いと予想されています。

今後、雑草及び害虫の発生が懸念されるため、以下の対策を徹底してください。
(詳細は「令和6年度しろねぎ栽培マニュアル」のP.21を参照)

1 うね間に雑草の発生がみられる場合（定植25日後頃）

雑草が小さいうちに、ねぎにかからないよう「プリグロックスL」又は「バスタ液剤」をうね間に散布（※）する。

| 薬剤名 | 10a 当たり使用量 | 使用方法 | 使用時期 |
|----------|----------------------------|--------|-----------------------------|
| プリグロックスL | 600～1,000mL (水100～150L) | 雑草茎葉散布 | うね間処理、雑草生育期、 ただし収穫3日前まで |
| バスタ液剤 | 300～500mL (水100～150L) | 雑草茎葉散布 | 収穫前日まで、雑草生育期、 定植前又はうね間処理 |

※風の強い日は散布せず、風の無い日に散布してください。

※近隣の他の作物に飛散しないよう、十分に注意してください。

2 定植50日後頃の管理

(1) 1回目の土寄せ（削込み）の実施

生育量（葉鞘径10mm、草丈35～40cm、本葉4～5枚）を確保後、1回目の土寄せを実施する。ただし、田植え等で作業が競合し、土寄せの遅れが懸念される場合は、生育量確保前（定植30～40日後頃）に少量の土寄せを実施する。

土寄せは、土壌病害の発生を助長しないよう、葉の分岐点が隠れない程度とする。

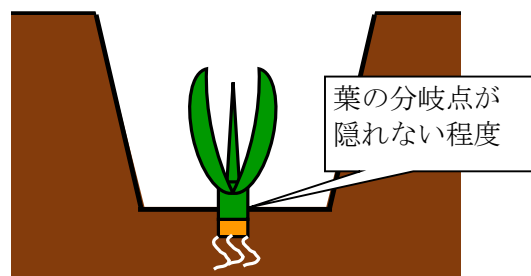


図 土寄せ（削込み）のイメージ

(2) 害虫（アザミウマ類）対策

土寄せ前に「ダントツ粒剤」を株元散布する。

| 薬剤名 | 10a 当たり使用量 | 使用方法 | 使用時期 |
|--------|------------|------|---------|
| ダントツ粒剤 | 6 kg | 株元散布 | 収穫3日前まで |

(3) 雑草対策

土寄せ直後に「トレファノサイド乳剤」をほ場全面に散布する。

| 薬剤名 | 10a 当たり使用量 | 使用方法 | 使用時期 |
|------------|----------------------|--------|--------------------------|
| トレファノサイド乳剤 | 200～300mL (水100L) | 全面土壌散布 | 定植後雑草発生前、ただし 収穫30日前まで |

【問い合わせ先】

アルプス農業協同組合 営農部 営農企画課 TEL:076-472-5480
富山県富山農林振興センター 園芸振興班 担当:金森 TEL:076-444-4523